



令和3年3月25日(木) 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
博物館	人文係	南本有紀	代表 0575-28-3111
			内線 302
			FAX 0575-28-3110

博物館図書館連携企画展

せんまひやくれん あかばねとう こうへん  
「千磨百錬 よみがえる赤羽刀：後篇」

を開催します

「赤羽刀」とは、第二次世界大戦後、連合軍最高司令官総司令部（GHQ）によって接收された刀剣のうち、元所有者不明のため博物館等に無償譲与された日本刀のことです。東京赤羽のアメリカ軍第八軍兵器補給廠（ほきゅうしょう＝倉庫）に保管されていたことからこう呼ばれています。

平成11年（1999）に岐阜県博物館が受領した168点のうち、鞘を失い、錆びついた状態から、令和元年度までに研磨、外装の整備が完了した48点を2回に分けて展示公開します。

後篇では、三本杉とよばれる杉木立のような刃文で有名な孫六兼元の「刀 銘 兼元」、徳川家康より「康」字の名乗りと葵紋を許された康継の「脇指 銘（葵紋）康継於越前作之（やすつぐえちぜんにおいてこれをつくる）」など24点を展示します。



わきざし 脇指 銘（葵紋）康継  
えちぜんにおいてこれをつくる  
於越前作之  
岐阜県博物館蔵  
撮像：中村慧

- 会期・時間 令和3年4月24日（土）～6月13日（日）  
10：00～18：00
- 会場 岐阜県図書館2階 企画展示室Ⅱ（岐阜市宇佐4-2-1）  
※県博物館ではありませんのでご注意ください。
- 料金 入場無料
- 休館日 毎週月曜日・図書整理日（4月30日（金）・5月28日（金））  
ただし、5月3日（月・祝）は開館し、5月6日（木）は休館します。
- 展示資料 岐阜県博物館所蔵の赤羽刀48点を2回に分けて公開  
（前篇：1月19日（火）～3月14日（日））
- 関連催事  
講演会「熱田神宮の刀剣」（講師 ふくいよしひこ 福井款彦氏 熱田神宮文化研究員）  
日時 令和3年5月29日（土） 13：30～15：00  
会場 岐阜県博物館マイ・ミュージアム棟3階 けんぱくホール（関市小屋名1989）  
料金 無料 ※ただし、博物館本館の展示を観覧される場合には、  
入館料（一般340円、大学生110円、高校生以下無料）が必要です。  
定員 65名  
申込方法 ①岐阜県博物館ホームページ申し込みフォーム  
②電話 0575-28-3111（岐阜県博物館（代））  
受付開始は令和3年4月29日（木・祝）～  
※休館日を除く8：30～17：15まで受け付けます。  
<休館日>毎週月曜日（月曜が祝休日の場合はその翌平日）